

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆国債費3年後に10兆円増、金利上昇で 財務省が試算公表

・財務省は2026年度予算案をもとに向こう3年の歳出・歳入の状況を示す「後年度影響試算」を公表。国債の元利払いに充てる国債費は29年度に41.3兆円と、26年度の31.3兆円から10兆円増える。同試算では初めて社会保障費の41.0兆円も上回る見通し。名目の経済成長率は3.0%、消費者物価の上昇率は2.0%で推移するとの前提を置いた。

◆労災隠しの実態調査、26年度にも「保険料抑制狙い報告ためらい」解明

・厚生労働省は2026年度に企業の「労災隠し」の実態を調査する。労働災害が少ない事業所の保険料負担を軽減する制度が報告を渋る要因になっているという指摘がある。調査結果を踏まえ、厚労省は制度改正も含めて検討する方針。労働安全衛生法は事業者に対し、職場で労災が起きたら所定の形式で労働基準監督署に届け出るよう義務付け。

◆2025年の出生数70.5万人 少子化は推計より17年早く、人口減も進行

・厚生労働省が人口動態統計の速報値を公表。日本で2025年に生まれた子どもの数(外国人を含む)は前年比2.1%減の70万5809人。10年連続で過去最少を更新。国の将来推計より17年早いペースで少子化が進んでおり、政策判断の前提は揺らぐ。社会保障などを持続可能にするには給付と負担の見直しを含む制度の再設計が不可避。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆1月の国内建設受注額10%増、製造業関連の受注が増加

・日本建設業連合会が発表した1月の国内建設受注額は、前年同月比10%増の1兆2674億円。製造業の工場建設の発注など民間からの受注額が伸びた。官公庁からの受注額は減少した。国内建設受注額は加盟92社のデータを足し合わせて算出。民間からの受注額は25%増の1兆442億円で、そのうち製造業は20%増の2207億円だった。

◆1月の工作機械受注額25%増、米国や中国がけん引

・日本工作機械工業会が発表した1月の工作機械受注総額(確報値)は、前年同月比25%増の1455億円。7カ月連続で増加。中国で自動車向けが活況だったほか、米国も政府の投資促進策で設備投資が進んだ。受注総額の8割に迫る海外向けは34%増の1129億円だった。2025年12月に次ぐ歴代2位の受注額だった。

◆3月の電気代、東京電力など全社引き上げ 政府の補助金減で

・大手電力10社は3月使用分(4月請求分)の家庭向け電気代について発表。政府の補助金が2月使用分と比べて減額された影響が大きく、全社で電気代が上がる。発電用燃料となる原油の輸入価格は下落したものの、液化天然ガス(LNG)と石炭の輸入価格は上昇したことも影響。平均的な使用量で2月使用分よりも700～840円高くなる。

《 注目商品 》

■ボッシュ コンパクト+シンプルな「レーザー距離計 GLM 50-21」

・胸ポケットに収まるコンパクトなサイズで、操作ボタンは3つだけとシンプルながら直線距離測定、面積測定、連続測定、ピタゴラス測定が可能。測定精度は上位機種同等の±1.5mm、最大測定距離は50m。使いやすさと視認性を備えたドットマトリクスディスプレイを採用。



■LIXIL、IoT対応のトイレ「パブリック向けクイックタンク式床置便器」

・IoT対応のトイレ「パブリック向けクイックタンク式床置便器」を発売。「LIXIL Toilet Cloud」において、「便器詰まり検知・お知らせ機能」にて便器内のセンサーが詰まりによる水位上昇を検知し、給水を自動停止して汚水のおふれを最小限に抑える。



■三協立山 三協アルミ社 カーポート屋根にマットで高遮熱な「シルバーポリカーボネート板」

・駐車時の遮熱対策として業界初となる「シルバーポリカーボネート板」をラインアップ。アルミ材色のサンシルバーに合わせたオリジナル色で、ポリカーボネート素材でありながらアルミ材材のような洗練された外観を実現。屋根下面はマットな質感で、屋根上の汚れが気にならない。

